

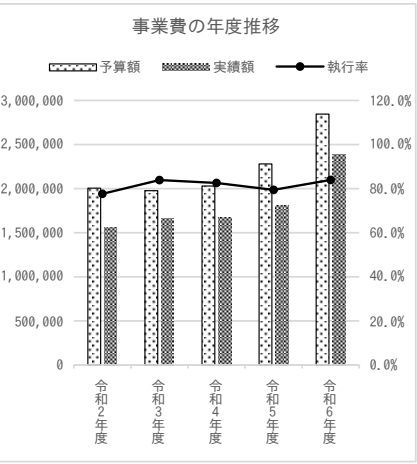
令和7年度 杉並区施策評価シート I

施策	12	いきいきと住み続けることができる健康づくり		
分野	04	「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち		
施策担当課	健康推進課		関係課	国保年金課、保健予防課、保健サービス課

- 施策目標
- ICTなどの活用が進み、誰もが健康づくりの取組に容易に参加できる機会が保障されています。また、一人ひとりが健康管理・健康増進に取り組み、健康寿命が延伸されています。
 - 特定健康診査の受診及び特定保健指導による生活習慣の改善により、メタボリックシンドロームの対象者が減少しています。
 - 生活習慣病予防から介護予防、認知症予防の取組により、高齢になっても自立し、生活しています。
 - がん対策、糖尿病などの生活習慣病対策が効果的に実施され、発症予防・重症化予防が進み、がんによる死亡率の低下及び糖尿病等の生活習慣病有病者・予備軍の減少につながっています。
 - 心の病気に関する正しい知識の普及が進むとともに、早期発見、早期対処が行われています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	各教室への参加延べ人数	保健センター健康増進教室に参加した延べ人数	人	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	727	870	957	-	
				達成率	72.7%	87.0%	95.7%	-	
	特定保健指導実利用者数		人	計画	600	600	600	532	
				実績	426	351	351	-	
				達成率	71.0%	58.5%	58.5%	-	
	がん検診受診者数		人	計画	159,850	160,600	163,750	163,800	
				実績	126,066	125,615	129,282	-	
				達成率	78.9%	78.2%	79.0%	-	
	精神保健相談実施回数	精神科医による精神保健相談	回	計画	160	160	160	160	
				実績	160	163	168	-	
				達成率	100.0%	101.9%	105.0%	-	
成果指標	65歳健康寿命（男性）	65歳の人が要介護認定（要介護2以上）を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの	歳	計画	83.8	83.8	83.9	84	令和12年度
				実績	83.7	83.5	83.6	-	84.4歳
				達成率	99.9%	99.6%	99.6%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	65歳健康寿命（女性）	65歳の人が要介護認定（要介護2以上）を受けるまでの期間の年齢を平均的に表したもの	歳	計画	87	87.2	87.3	87.5	令和12年度
				実績	86.8	86.6	86.7	-	88.2歳
				達成率	99.8%	99.3%	99.3%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	特定保健指導対象者割合の減少率	特定健診における特定保健指導対象者割合の減少率（平成20年度（2008年度）比）	%	計画	25	25	25	25	令和12年度
				実績	30.5	27.7	29.1	-	25%以上
				達成率	122.0%	110.8%	116.4%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	がんの75歳未満年齢調整死亡率（男性）	年齢調整死亡率＝人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出		計画	77.1	75.9	74.6	70.6	令和12年度
				実績	72.9	73.6	61.1	-	67.9
				達成率	94.6%	97.0%	81.9%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	がんの75歳未満年齢調整死亡率（女性）	年齢調整死亡率＝人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を基準人口で補正して算出		計画	52.6	52.6	52.6	51.3	令和12年度
				実績	51.7	57.8	51.1	-	49.2
				達成率	98.3%	109.9%	97.1%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	ゲートキーパー養成者数（累計）	悩みや不安に寄り添えるよう、区のゲートキーパー養成講座を受講した区民・学校関係者・職員等の数	人	計画	2,150	2,400	2,550	2,700	令和12年度
				実績	2,263	2,389	2,619	-	3,450人
				達成率	105.3%	99.5%	102.7%	-	
	分類	行政サービス成果指標							

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	2,005,444	1,976,893	2,030,018	2,280,195	2,845,534
			実績額	1,557,125	1,658,500	1,676,346	1,811,586	2,389,054
			執行率	77.6%	83.9%	82.6%	79.4%	84.0%
	人件費	千円	予算額	593,261	588,827	574,349	604,737	695,779
			実績額	586,088	577,583	574,395	665,799	778,417
			執行率	98.8%	98.1%	100.0%	110.1%	111.9%
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	2,598,705	2,565,720	2,604,367	2,884,932	3,541,313
			実績額	2,143,213	2,236,083	2,250,741	2,477,385	3,167,471
			執行率	82.5%	87.2%	86.4%	85.9%	89.4%
	国・都からの補助金等	千円	予算額	641,471	397,111	274,129	368,046	368,204
			実績額	250,245	279,331	258,112	228,574	243,503
			執行率	39.0%	70.3%	94.2%	62.1%	66.1%
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		-1.3%	1.5%	10.8%	22.8%
			実績額		4.3%	0.7%	10.1%	27.9%
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	22.8%	22.9%	22.1%	21.0%	19.6%
			実績額	27.3%	25.8%	25.5%	26.9%	24.6%



特記事項

前年度比10%以上の増理由及び執行率90%未満の理由は、施策に紐づく事務事業一覧の数値が反映される第2段階評価で記載する。（企画課確認済み）
成果指標（3）の令和6年度実績は速報値。

施策の成果		若い世代からの健康づくりや高齢者の介護予防を目的とした各種講座については、対面式に加え、ＩＣＴを活用してオンライン講座や動画配信を行い、区民が主体的に健康づくりに取り組む環境を整備しました。また、国の「健康日本21（第三次）」及び「東京都健康推進プラン21（第三次）」の改定を踏まえ、ライフコースアプローチや社会環境の質の向上などの健康づくりの視点を取り入れ、「杉並区健康医療計画」を改定しました。 さらに、健康づくりリーダーや食育推進ボランティアを育成することにより、区民や関係団体等との協働による健康づくりを進め、健康寿命の延伸につなげています。 健康な生活を維持するためには自らの健康状態を把握し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療及び生活改善が大切であることから、区民健診に加え、職場等で受診機会のない方を対象にがん検診を実施しました。特に、子宮頸がん検診については、個別勧奨の対象を拡大したことにより、受診者を16,520人（令和5年度比2,204人増）に増やすことができました。また、健診・検診データを活用して、特定保健指導、歯科疾患の重症化予防や糖尿病予防の普及啓発等を行い、区民の健康に対する意識の向上を図りました。 悩みや不安を抱えている方の早期発見・早期対応に向けて、新たに、230人のゲートキーパーを養成して自殺予防の取組を進めるとともに、心の健康づくりを目的として、精神科医等による精神保健相談や講演会を行い、心の病気を未然に防止する取組を推進しました。
課題の分析		「人生100年時代」を迎え、誰もが生涯にわたり、健やかで心豊かに暮らすことができる持続可能な社会を目指す中で、健康の重要性はますます高まっています。超高齢化社会を迎えてがんや糖尿病等の生活習慣病の有病者が増加していることから、その早期発見と予防の観点を踏まえ、がん検診及び特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率向上に向けた取組が引き続き必要です。また、健康寿命の延伸を目指し、身体と心の健康について、ライフステージに応じたきめ細かい健康づくりに取り組む必要があります。 また、「国の健康日本21（第三次）」及び「東京都健康推進プラン21（第三次）」を踏まえた「杉並区健康医療計画」に基づき、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性の高い取組を推進するとともに、社会環境の質の向上を図り、病気になる前段階からの予防的な取組やＩＣＴを活用した利便性の高い取組などを講じていく必要があります。 特に、成人期と女性の健康づくり活動をより一層支援していくために、総合的な健康アプリの導入により、主体的な健康づくり活動を推進していきます。また、女性のライフステージに応じた健康課題をサポートするため、無料で相談できるLINEアプリを活用した健康相談窓口を実施する必要があります。
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第２段階評価時に入力
	今後の進め方	※第２段階評価時に入力

令和7年度 杉並区施策評価シート Ⅰ

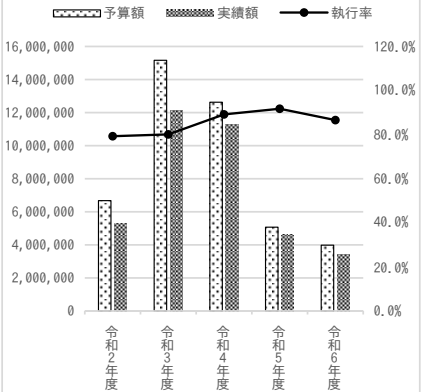
施策	13	地域医療体制の充実
分野	04	「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち
施策担当課	健康推進課	関係課 障害者施策課、在宅支援・生活支援センター、生活衛生課、保健予防課

- 施策目標
- 休日等の医療や相談の体制が充実し、区民の救急医療体制に対する安心感が増えています。
 - 医療機関等関係機関の連携強化により、災害時における緊急的な医療体制が確保されています。
 - 在宅医療と介護の連携が図られるなど、在宅療養者が安心して医療を受けられる体制が整っています。
 - 感染症に対する防疫体制や検査体制等が強化されるとともに、区民の感染症に対する予防知識が向上しています。
 - 在宅訪問診療所と地域基幹病院が連携し、障害者が身近な地域で診療を受けられる体制が確保されています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	急病医療情報センターの利用件数	杉並区急病医療情報センターの入電件数	件	計画	12,000	12,000	12,000	12,000	
				実績	5,839	9,574	8,985	-	
				達成率	48.7%	79.8%	74.9%	-	
	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施回数	災害時における医療救護所の開設等に関する協定を締結している病院との訓練実施回数	回	計画	3	3	3	3	
				実績	3	3	2	-	
				達成率	100.0%	100.0%	66.7%	-	
	在宅医療相談調整窓口の開設日数		日	計画	243	243	243	243	
				実績	243	243	243	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	移行期医療について区民向けに啓発する回数	講演会や調査等で移行期医療について取り上げた回数	回	計画	1	1	1	1	
				実績	1	2	1	-	
				達成率	100.0%	200.0%	100.0%	-	
成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	73	74	75	76	令和12年度
				実績	67.5	71.3	68.6	-	80%
				達成率	92.5%	96.4%	91.5%	-	
	分類	区民満足度指標							
	在宅医療を受けた人数	在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院に係る報告書（7月～6月実績）	人	計画			9,600	9,600	令和12年度
				実績	9,542	11,414	11,414	-	9,900人
				達成率	-	-	118.9%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	かかりつけ医療機関がある区民の割合	区民意向調査による	%	計画	61	62	62	63	令和12年度
				実績	61.3	63.7	66.7	-	65%
				達成率	100.5%	102.7%	107.6%	-	
	分類	区民満足度指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	6,675,724	15,164,391	12,627,907	5,070,510	3,981,308	3,174,096
			実績額	5,293,126	12,148,866	11,261,414	4,652,209	3,447,980	-
			執行率	79.3%	80.1%	89.2%	91.8%	86.6%	-
	人件費	千円	予算額	222,147	493,701	682,860	560,051	381,913	318,194
			実績額	526,390	811,072	834,023	574,708	382,389	-
			執行率	237.0%	164.3%	122.1%	102.6%	100.1%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	6,897,871	15,658,092	13,310,767	5,630,561	4,363,221	3,492,290
			実績額	5,819,516	12,959,938	12,095,437	5,226,917	3,830,369	-
			執行率	84.4%	82.8%	90.9%	92.8%	87.8%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	217,550	11,618,643	9,191,031	2,387,839	219,415	194,196
			実績額	1,266,858	11,666,155	9,097,491	2,665,470	666,211	-
			執行率	582.3%	100.4%	99.0%	111.6%	303.6%	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		127.0%	-15.0%	-57.7%	-22.5%	-20.0%
			実績額		122.7%	-6.7%	-56.8%	-26.7%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	3.2%	3.2%	5.1%	9.9%	8.8%	9.1%
			実績額	9.0%	6.3%	6.9%	11.0%	10.0%	-

事業費の年度推移



特記事項

成果指標（2）は、総合計画の改定に伴い、「在宅医療相談調整窓口の相談件数」から「在宅医療を受けた人数」に変更した。
成果指標（2）「在宅医療を受けた人数」については、当該年度において直近で把握できる数値を入力。
令和8年度施策評価においては、外部評価をうけて、活動指標を「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施回数」から「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加率」に変更予定。前年度比10%以上の増理由及び執行率90%未満の理由は、施策に紐づく事務事業一覧の数値が反映される第2段階評価で記載する。

施策の成果	初期救急医療体制を確保するため、小児急病診療を含む休日等夜間急病診療事業等を実施し、区民の救急医療体制に対する安心感の醸成につなげました。また、災害時に開設する緊急医療救護所が円滑に運営できるよう、医療救護訓練を実施するとともに、災害時周産期医療体制を構築しました。さらに災害時にもつながりやすい地域BWAを活用したWi-Fiアクセスポイントを緊急医療救護所等に導入するなど、災害時の関係機関の備えを強化しました。 在宅医療と介護の連携強化に向け、医療・介護の関係者による在宅医療地域ケア会議を15回、在宅医療に携わる看護師やケアマネジャー等を対象とした在宅医療推進多職種研修を4回開催したほか、杉並区医師会の多職種連携ICTシステムに係る運用経費を補助するなどの取組を進めました。 障害者医療では、在宅療養の体制整備を図るため、区と医師会等による検討会を開催し、小児科から成人科へ移行する移行期医療の充実や在宅療養を支えるためのレスパイト入院についての課題を共有しました。また、医療関係者向けの研修を医師会と共催で開催し、障害者医療に対する知識を高めることにつなげました。 杉並区感染症予防計画に基づき、防疫用備蓄品や試薬及び消耗品等の検査用備蓄品を購入したほか、「すぎなみ感染症患者等情報管理システム」を構築・導入し、平時から業務のデジタル化の推進を図りました。また、令和7年3月に新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を開催し、医師会・薬剤師会、医療機関等との連携を強化しました。
--------------	---

課題の分析	急な病気やケガをした際、区民が安心して医療を受けられるよう、引き続き小児急病診療を含めた休日等夜間急病診療事業等を実施し、区民への周知を効果的に行う必要があります。また、区民が身近な地域で安心して子どもを産み育てることができるよう、区内の東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療、及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助を行い、小児救急医療体制を維持・確保する必要があります。 災害発生時における緊急医療救護所の円滑な運営に向け、実効性の高い医療救護訓練等を実施していく必要があります。さらに、高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まってきており、在宅療養者が安心して医療を受けられるよう、在宅医療と介護の連携を強化していく必要があります。加えて、医療の進歩等に伴い医療的ケア児者・重症心身障害児者が増加していることから、専門医療機関（小児科）から在宅訪問診療所への移行に向けた相談体制の充実やレスパイト先の確保等が求められています。 新型コロナウイルス感染症流行期の対応を踏まえ、今後も起こり得る新興・再興感染症に適切に対応するため、平時から新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を適宜開催するなど、医師会や医療機関等との更なる連携強化に努めることが重要です。また、新興・再興感染症の流行を踏まえた一般区民向けの感染症予防に関する正しい知識の啓発活動の内容や手法について、検討が必要です。
--------------	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第2段階評価時に入力
	今後の進め方	※第2段階評価時に入力